



TITLE:

3.学位取得者と論文題目(Ⅲ.研究活動)

AUTHOR(S):

CITATION:

3.学位取得者と論文題目(Ⅲ.研究活動). 霊長類研究所年報 2012, 42: 76-77

ISSUE DATE:

2012-10-04

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/171607>

RIGHT:

回日本霊長類学会大会 (2011/07, 犬山).

- 2) 松田一希, 村井勲裕, Clauss M, 山田朋美, Tuuga A, Bernard H, 東正剛 (2011) 霊長類の反芻行動の発見: テングザルの事例. 2011 年度日本哺乳類学会大会 (2011/09, 宮崎).

講演

- 1) Matsuda I (2011/05) Evolution of Primate Society. Lecture - Studying and Monitoring Primate Behavior: A Workshop for Asian Conservation Professionals. シンガポール.
- 2) 松田一希 (2011/07) フィールドワークの可能性ーテングザル研究と私ー. 第 27 回日本霊長類学会大会 高島賞受賞講演. 犬山.
- 3) 松田一希 (2011/11) ラボからフィールドへ: ボルネオのジャングルでテングザルを追う. 同志社大学無機化学研究室 修業会. 京都.
- 4) Matsuda I (2011/12) Proboscis Monkey -Big Nose of Borneo. University of Zurich 主催 Lecture series on "Indonesian wildlife". チューリッヒ.

2. 交流協定

学術交流協定

2012 年 3 月 31 日現在

協定国	協定先	協定先 (アルファベット表記)	協定年月日	期間
ギニア	ギニア科学技術庁	La Direction Nationale de la Recherche Scientifique et Technique	2004.1.28	5 年間 (自動継続)
ギニア	ボッソウ環境研究所	L'Institut de Recherche Environnementale de Bossou (IREB)	2004.1.4	5 年間 (自動継続)
スリランカ	スリジャヤワルデネプラ大学 社会学人類学教室	University of Sri Jayawardenepura (Faculty of Arts, Department of Sociology and Anthropology)	2005.8.18	10 年間
台湾	国立屏東科技大学 野生動物保全学研究所	Institute of Wildlife Conservation National Pingtung University of Science and Technology	2008.1.18	10 年間
タイ	タイ王国動物園協会	The Zoological Park Organization, Thailand	2009.9.16	5 年間 (2009.10.1~)
大韓民国	ソウル大公園 (ソウル動物園)	Seoul Grand Park (Seoul Zoo)	2010.4.28	—
タイ	チュラロンコン大学理学部	Faculty of Science, Chulalongkorn University	2010.5.24	5 年間 (自動継続)
コンゴ民主 共和国	生態森林研究所	The Research Center for Ecology and Forestry, Democratic Republic of Congo	2010.9.15	5 年間
インドネ シア	アングラサ大学理学部	Department of Biology, Faculty of Science, Andalas University	2011.4.27	5 年間 (2011.4.1~)
バングラ デシュ	野生生物保護局	The Wildlife Trust of Bangladesh, Bangladesh	2011.3.12	5 年間 (2011.4.1~)
タイ	カセサート大学理学部	Faculty of Science, Kasetsart University	2011.4.25	5 年間 (2011.5.1~)

共同研究協定

日本	財団法人名古屋みなと振興財団 (名古屋港水族館)		2009.7.3	—
日本	財団法人高知県 のいち動物公園協会		2010.8.12	2013.3.31
マレーシア	オランウータン島財団	Orang Utan Foundation	2010.11.1	—
マレーシア	ブラウバンディング財団	Pulau Banding Foundation	2010.11.1	—
マレーシア	サバ財団、ペトロリアム・ナシヨ ナル株式会社 (ペトロナス)、サ バ州森林局、サバ州野生生物局、 マレーシア科学アカデミー	Yayasan Sabah, Petroliaam Nasional Berhad(Petronas), Sabah Forestry Department, Sabah Wildlife Department, Academy of Sciences, Malaysia	2011.6.29	—

3. 学位取得者と論文題目

京都大学博士 (理学)

福島美和 (課程): Reading and Writing Support for Children with Developmental Disorders: The Possibility of Using e-Learning (発達障害児の読み書き学習支援: e-Learning を取り入れた支援の可能性)

小倉匡俊（課程）：Cognitive foundations of environmental enrichment for Japanese macaques（ニホンザルの環境エンリッチメントにおける認知的基盤）

伊藤 毅（課程）：External and internal craniofacial morphology of Asian macaques and its evolutionary and paleobiogeographic implications（アジア産マカク属霊長類における頭骨顔面部の外部と内部の形態およびその進化的・古生物地理学的意義）

兼子峰明（課程）：The perception of one's own actions in chimpanzees and humans（チンパンジーとヒトにおける自己の運動の認識）

狩野文浩（課程）：A comparative eye-tracking study in great apes and humans: the pattern of eye movements for scenes and faces（類人猿とヒトにおける比較アイ・トラッキング研究：風景と顔に対する眼球運動のパターン）

檜垣小百合（課程）：Molecular aspects of brain aging in female macaques（メスマカクザルにおける脳の老化の分子的側面）

Christopher Flynn Martin（課程）：Chimpanzee social intelligence: information use and strategic interaction in an automated testing environment（チンパンジーにおける社会的知性：全自動テスト場面における情報利用と戦術的社会交渉）

京都大学修士（理学）

磯村朋子：自閉症児における情動認知に関わる視覚探索研究

佐藤杏奈：霊長類の乳児画像に対する視覚的注意・弁別・選好性に関する実験的研究

早川卓志：チンパンジー亜種間における苦味受容体遺伝子の地域分化

村松明穂：チンパンジーとヒトにおける作業記憶の比較

ユ リラ：チンパンジーにおける同調行動の実験的研究

4. 外国人研究員

招へい外国人学者・外国人共同研究者

張 鵬（中華人民共和国、中山大学社会学与人類学学院・講師）（2010.8.1～2011.7.31） 受入教員：渡邊邦夫
研究題目：ニホンザル社会構造の比較研究

H Bouchet（フランス共和国、レンヌ第一大学・リサーチアシスタント）（2010.9.7～2011.9.6） 受入教員：正高信男
研究題目：ニホンザルの発情声と性戦略に関する実験的研究

CD Dahl（ドイツ連邦共和国、マックスプランク生物サイバネティクス研究所・研究員）（2010.10.1～2012.9.30） 受入教員：友永雅己
研究題目：霊長類における顔認知および社会的認知に関する比較認知科学的研究

C Sueur（フランス共和国、プリンストン大学・研究員）（2010.10.13～2011.8.3） 受入教員：渡邊邦夫
研究題目：ニホンザルにおける集団としての意志決定機構

ME Kret（オランダ王国、ティルバーグ大学・PhD Student）（2011.2.4～2011.7.29） 受入教員：松沢哲郎
研究題目：情動表出と認知の多様性に関する比較認知科学的研究

PA Pebsworth（アメリカ合衆国、Wildcliff Nature Reserve・Site Biologist）（2011.2.6～2011.12.16） 受入教員：MA Huffman
研究題目：チャクマヒヒの自己治療行動と寄生虫感染の生態学について

5. 日本人研究員・研修員

日本学術振興会特別研究員（PD）

木場礼子（2010.4.1～2012.3.31） 受入教員：中村克樹
研究題目：霊長類における性の認知と性ホルモンの影響

松田一希（2011.4.1～2011.10.31） 受入教員：半谷吾郎
研究題目：霊長類社会の重層構造の解明：テングザルの種内変異

柴崎全弘（2011.4.1～2014.3.31） 受入教員：正高信男